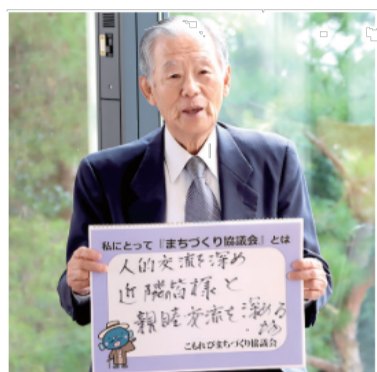


まちづくり協議会がっつ

まちづくり協議会(以下、まち協)は、地域で活動する自治会・町内会、サークル、各地区の近隣センターを管理・運営し、地域のつながりをつくるイベントなどを開現在、新型コロナウイルス感染症の影響で活動制限がある中、感染対策の徹底や今回は市内のまちづくり協議会(根戸地区を除く9地区)の会長に話を伺いました。



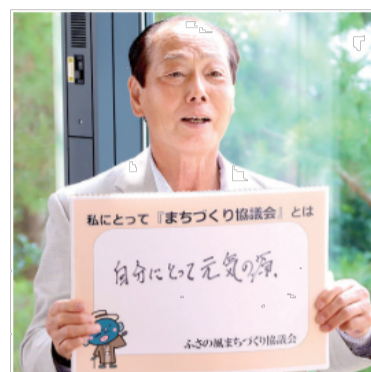
こもれびまちづくり協議会
木野勝敏会長



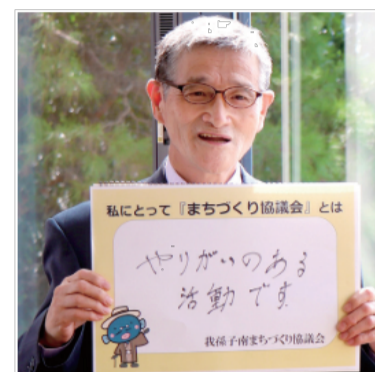
久寺家地区まちづくり協議会
藤原政美会長



新木地区まちづくり協議会
松田謙一郎会長



ふさの風まちづくり協議会
松島紀会長



我孫子南まちづくり協議会
高橋香司会長

新型コロナウイルス感染症の影響

星野市長 新型コロナウイルス感染症の影響で、さまざまなイベントなどが中止となりました。まち協の活動にはどのような影響がありましたか。

小倉宏也さん(湖北台地区まち協) 令和2年はイベントを全て中止にしましたが、令和3年は感染対策を行い音楽や映画鑑賞を実施し、参加者はとても喜んでいました。近隣センターは地域に密着していると感じました。

松田謙一郎さん(新木地区まち協) 参加者が声を出して歌えないので、みんなで歌う「歌声喫茶」を「歌声コンサート」に変更して開催しました。予想以上に参加者が多く、一部の方には会場の外で聞いてもらいました。



▲座談会の様子

皆さん活動再開を心待ちにしていたようです。

木野勝敏さん(こもれびまち協) 人数制限をした中で2年ぶりに「こもれびコンサート」を開催したところ、皆さんとても喜んでいました。

塩畑博子さん(天王台北地区まち協) イベント内容の変更などで参加者は少なかったですが、参加者を見て、改めて地域の皆さんが集まる近隣センターは大切だと思いました。

山本英雄さん(布佐南地区まち協) 「布佐文化祭」を中止にしたところ、出展していた方やコーラスの方から、生きがいの一つだったので発表する場がなくなり寂しいという声がありました。

星野市長 活動ができない影響もありましたが、コミュニティーづくりの大切さを改めて実感する機会にもなりましたね。

松島紀さん(ふさの風まち協) 地域の皆さんは近隣センターでのイベントを楽しみにしています。もっと地域にとって有意義なイベントにしていきたいです。

高橋香司さん(我孫子南まち協) 「サマーフェスティバル」は中止しましたが、絵画・書道の展示や舞台などを行う「南まち協フェスティバル」を開催しました。

平井保彦さん(我孫子北まち協) 対面会議をオンライン会議に切り替えたり、近隣センターの利用者アンケートをインターネットで回答できるように工夫して活動しました。



▲南まち協フェスティバル

藤原政美さん(久寺家地区まち協) 夏祭りや収穫祭、夏休みの子どもの宿題教室も中止しました。秋以降、少しずつ動き始めたところです。

地域に合った特色あるコミュニティーづくり

星野市長 我孫子市は東西に長く、各地域で歴史や伝統文化が異なります。皆さんも地域の特色などを大切に活動していると思いますが、いかがですか。

松田さん 新木地区は戸建てが多く、国道356号を境に新しい街並みと古い街並みがあります。まち協委員も高齢化していますが、南新木に住む若い世代の参加が増え、ホームページに動画を掲載することができました。毎年1月には新木小学校で「新木ふれあいあわんとり」があり、萱はボランティアやPTAの方の協力を得て、利根川河川敷からトラックで4~5杯運んで来ます。

木野さん 近隣センターこもれびは我孫子ゴルフ倶楽部の隣にあり、ヒマラヤスギなど大きな樹木に囲まれた自然豊かな場所にあるのが特徴です。また、管理人がまち協委員を兼務し、イベントの企画や運営などに参加しています。近隣センターの運営には人間性や協調性を大切にしています。

松島さん 布佐地区には約1万人が住んでいます。まち協では人との結び付きを大切に、竹内神社例大祭や新緑まつりなどに協力しています。高齢化が進む地域ですが、昨年、久しぶりに40代の方がまち協に加わりました。

インターネットの活用など、新しい分野で若い世代の知恵を生かして運営していきたいです。また、近隣センターを地域の方の憩いの場にしたいです。

高橋さん 我孫子南近隣センターは、けやきプラザの8・9階にあります。

手賀沼が見える立地を生かし、夜のジャズコンサートや子どもがジャズを聴ける活動などをしたいです。通年開催しているパソコン教室が好評で、若い方も多く参加しています。まち協の役員も高齢化しているので、若い方がいる団体などにも声を掛けたいと思います。

星野市長 さまざまな団体で高齢化が進んでいますが、若い方がいる団体もあります。ぜひ、若い世代にもコミュニティーづくりに積極的に関わってほしいですね。

藤原さん 久寺家地区は、住宅開発時に住み始めた方とそれ以前から住んでいる方の割合が7:3くらいで、生活環境や関心事の異なる方が一緒に活動しています。高齢化が進む地域なので、体が不自由な方などをサポートする「久



▲新木ふれあいあわんとり



▲竹内神社例大祭